

新潟県

公民館月報

昭和61年9月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟（0252）24-6073】【振替新潟0-4049】

発行人 会長 志水 亘

編集人 事務局長 上村 捨二郎

【定価1部 120円 年共・年報 1,440円】



夏の福浦海岸

信仰と三階節

で名高い米山が
日本海になだれ
込むあたりの景
勝地を、地元の

人々は、「福浦八景」と呼んでいる。

奇岩怪石が起伏する岩場で、四十余の岩にはそれぞれ名前がつけられている。

私は、この荒々しい岩肌と波しぶきを好んで描いてきた。先日も//かもめが鼻に立ってみた。青々と広がる海。遠くに佐渡が望まれ、弁天岩の松の緑が痛いほどに目にしみた。

絵と文

日本画家

柳 重栄



あいさつする志水会長

第 2 回 理 事 会 開 催

八月六日、新潟市中央公民館会議室で、全理事出席のもとに、本年度第 2 回理事会が開かれた。主な議題は、第 37 回県公民館大会の大会事務局の準備状況報告、ならびに優良公民館表彰・永年勤続者表彰候補の審査、ついで当面の諸問題に関する審議がなされた。

表彰候補の審査終る

優良公民館 4 館 永年勤続者 15 名が受賞

公民館大会の準備状況について、大会開催地事務局から、柏崎市中央公民館事務長の合田俊夫氏(大会事務局次長)から、特にオプザーバーとして出席してもらい、準備状況の詳細説明がなされた。続いて大会運営委員の構成案を原案どおり決定(役員表別掲)表彰については、適格審査の上問題のない推薦者は全数表彰することに決定。(受賞一覧表参照)なお、全公益表彰候補者の推薦審査もあわせて行われた。

当面の諸問題については、すでに本紙で紹介している「本紙の刷新について」、ならびに、「本紙の活動の充実に関する協議」がなされた。このうち、編集委員会の刷新の方向が全面的に支持された。本紙の活動の充実に関しては、郡市公運事務局長会議で出された意見の大方を是とし、可能なところから手をうつことになった。その手はじめの仕事は、公民館月報をおして、初任者事務課程を連載することである。

これは、近年の市町村環境は、公民館職員の勤続年数が短かくなる傾向があり、それともなう未経験者の増加に対処するための研修事業である。このため、研修専門委員により、研修内容を企画してもらうことになった。なお、専門委員には、つぎの三氏が会長から委嘱された。

新井市公民館長 町井 昭雄
十日町市公民館 副館長 星野 元一
岩室村公民館 社教主事 石添 義克

表 彰 優 良 公 民 館

見 附 中 央 公 民 館	館 館 館
柏 崎 市 比 角 公 民 館	館 館 館
新 潟 市 鳥 屋 野 地 区 公 民 館	館 館 館
新 潟 市 西 地 区 公 民 館	館 館 館

表 彰 非 常 勤 永 年 勤 続 職 員, 公 運 審 委 員

氏 名	年 齢	所 属 公 民 館	役 職
清野 寅次郎	59	三条市中央公民館	運 審 委
高野 興一郎	66	三条市本成寺公民館	運 審 委
岩崎 晃一郎	37	巻町松野尾分館	主 主 審
小川 明彦	41	巻町桜林分館	主 主 審
上杉 正則	64	白根市茨曾根公民館	主 主 審
千野 莊一	55	栃尾市公民館	館 館 長
庭野 又司	56	十日町市江道分館	館 館 長
藤田 俊孝	51	青海町中央地区館	館 館 長
竹原 健正	79	上越市立公民館	運 審 委
植木 智宣	69	上越市立公民館	運 審 委
久住 清松	57	柏崎市中央公民館	運 主 事
渡辺 昭平	50	中之島中野分館	主 事
石 渡 昭 平	56	味方村公民館	運 審 委

～ 都市・農村・複合の 7 地域 ～
今日の会議は第一(社会教育事業)第二(人的体制)の部会に分かれて開かれた。まず、両方に共通する問題として、県内市町村の社会教育行政の実態を把握し分析するは自治体の人口規模や地域性を考慮した上で議論することが現実的であるから、県内を 7 の地域型に分類することが提案された。しかし、本県特有の「画」の条件が社会教育事業実施に影響を及ぼす場合が多いから、この視点も入れた分類をという発言もあったが、第一部会では「公民館の原案を承認した。～ 他行政の社会的事業 ～

会 議 日 誌 (8 月 29 日 猛 暑) 県 社 会 教 育 委 員 会 議 第 二 部 会

行政においても、社会教育の事業が広く実施されている。住民の立場から眺めるなら、そのも関心があるのでないかという指摘もあった。又、社教事業を担うのが実施者であるので、学校、講座、地域活動にとまかといつた議論もあったが、従来からの数値活用から社教を



(会 長 志 水 亘 記)

県大会開催地レポート(4)

事務局日誌 (抜粋)

八月六日、新潟市で開かれた原設備部会、活動・運動部会による公選理事会とともに大会案内状が研究協議も進められている。発表され、ホッとしていたらアツという間に投函が過ぎ大会まであと一月となった。

大会開催地の柏崎市では多数の参加申込みを急ぎつつ、大会資料の複製をはじめ、全市民館長二十名によって編成された三つの研究部会(組織部会、施設部会、活動・運動部会)に依頼し追加原稿を届け、公選理事会に現地事務局からオン

7日(木) 全市民館長会議が開かれ大会案内が交付され、終了後引き続き研究部会が開かれる。

8日(金) 大会当日、全参加者に配付される大会資料の交付作業をし、主催者あ

11日(月) 大会資料の交付案が校閲済みとなりまとまる。

12日(火) 上村局長に大会資料交付案のゴレを交付する。

13日(水) 研究協議の司会者田辺正昭館長具体的な時間配分について検討をし、修正案を上村局長にゴレで送る。県公選事務局から大会資料用原稿の一部(基調講演のレジュメ等)が届く。

た施設として充分に得ている。低さが第二に指摘されるが、公選理事会の社教主事者資格者権を前提として、その負担にた「生涯教育推進のための公民館の役割」の中に、専門分化した教育機能の総合化をあげ、開

14日(木) 大会資料の資料編の原稿づくりをはじめ、郷土誌の出版依頼をする。

15日(金) 大会当日、会場ロビーで柏崎市の公民館とミニミニテイクアウトを紹介する展示をし

16日(土) 大会資料の複製案が校閲済みとなりまとまる。

17日(日) 大会資料の複製案が校閲済みとなりまとまる。

18日(月) 大会資料の複製案が校閲済みとなりまとまる。



昭和二十一年、寺中構想に基づいて「公民館の設置促進」について「提議」されてから、四十周年を迎える。

当時、社会教育の拠点として公民館がまたたく間に全国に

これから公民館

斎藤 俊

「地域の運動会を手伝ってほしい」という電話を受けていたので喜ぶ気がしなから出かけ

「彼等がやったの」

中年に一歩足を入れた前青年たちが、運動会を動かしている様子を見て、私付思わず年を教え

た。あれから十数年が過ぎている。

ある頃、私は子育て戦争の真最中だった。農村の青年たちが仕事を終えて集まってくるのは夜

の八時。私が公民館の鍵をかけ帰るのは夜中の十二時になることも必要なのではないかと思う。

その日、私は短い時間の価値が多かった。しかし、私が感動した本を話すと、翌週には「あ、あれからもう十数年が過ぎる」という。今年、運動会が十月にまたと送られていく。今から聞いてみる。

「地域のために働く人も少なくなっている」という電話を受けていたので喜ぶ気がしなから出かけ

「彼等がやったの」

中年に一歩足を入れた前青年たちが、運動会を動かしている様子を見て、私付思わず年を教え

た。あれから十数年が過ぎている。

ある頃、私は子育て戦争の真最中だった。農村の青年たちが仕事を終えて集まってくるのは夜

の八時。私が公民館の鍵をかけ帰るのは夜中の十二時になることも必要なのではないかと思う。

その日、私は短い時間の価値が多かった。しかし、私が感動した本を話すと、翌週には「あ、あれからもう十数年が過ぎる」という。今年、運動会が十月にまたと送られていく。今から聞いてみる。

「地域のために働く人も少なくなっている」という電話を受けていたので喜ぶ気がしなから出かけ

「彼等がやったの」

中年に一歩足を入れた前青年たちが、運動会を動かしている様子を見て、私付思わず年を教え

た。あれから十数年が過ぎている。

ある頃、私は子育て戦争の真最中だった。農村の青年たちが仕事を終えて集まってくるのは夜

の八時。私が公民館の鍵をかけ帰るのは夜中の十二時になることも必要なのではないかと思う。

その日、私は短い時間の価値が多かった。しかし、私が感動した本を話すと、翌週には「あ、あれからもう十数年が過ぎる」という。今年、運動会が十月にまたと送られていく。今から聞いてみる。

目 八 目

「地域のために働く人も少なくなっている」という電話を受けていたので喜ぶ気がしなから出かけ

「彼等がやったの」

中年に一歩足を入れた前青年たちが、運動会を動かしている様子を見て、私付思わず年を教え

た。あれから十数年が過ぎている。

ある頃、私は子育て戦争の真最中だった。農村の青年たちが仕事を終えて集まってくるのは夜

の八時。私が公民館の鍵をかけ帰るのは夜中の十二時になることも必要なのではないかと思う。

その日、私は短い時間の価値が多かった。しかし、私が感動した本を話すと、翌週には「あ、あれからもう十数年が過ぎる」という。今年、運動会が十月にまたと送られていく。今から聞いてみる。



大会目指し事前研究中の柏崎市公連



誕生して、公民館に求められている。正統的な援助も可能になるのではない。昨年九月、国社研の研修に参加した公民館運営がつかえる財政的弱さ、不十分な人的体制とは、将受は地上局で九十局(衛星中継も考えている)を開設し、全国ネットワーク化が計画されている。

館長・公民館理事の専任業務の国ネットワーク化が計画されている。

中越教育事務所 社会教育課長

「地域のために働く人も少なくなっている」という電話を受けていたので喜ぶ気がしなから出かけ

「彼等がやったの」

中年に一歩足を入れた前青年たちが、運動会を動かしている様子を見て、私付思わず年を教え

た。あれから十数年が過ぎている。

ある頃、私は子育て戦争の真最中だった。農村の青年たちが仕事を終えて集まってくるのは夜

の八時。私が公民館の鍵をかけ帰るのは夜中の十二時になることも必要なのではないかと思う。

その日、私は短い時間の価値が多かった。しかし、私が感動した本を話すと、翌週には「あ、あれからもう十数年が過ぎる」という。今年、運動会が十月にまたと送られていく。今から聞いてみる。

いきいき町づくり

生涯教育の推進を核に

(担当)

安塚町は、東頸城郡にあり、長野県境に接する山あいの町である。人口五千二百余、名だたる豪雪の地でもある。

「過疎」の克服が最大の地域課題。産業に文化にどう取り組んでいく。町を挙げての活性化の中核的役割を果たしているのが公民館(即ち社会教育)とみだ。公民館は、町民会館の中にあり、教育次長が館長兼任、他に社会教育係長、社会教育主任、社会教育指導員の3人が町職員、さらには派遣社会教育主任と4人の専任職員が勤務している。

この他にスポーツ専任の主任補2人が社会体育面を

実施を知ることであった。だから「生涯の各時期にわたる学習の展開」をみることは、インテグレートッド(統合)の実践をみたかったのである。

安塚町は、東頸城郡にあり、長野県境に接する山あいの町である。人口五千二百余、名だたる豪雪の地でもある。

「過疎」の克服が最大の地域課題。産業に文化にどう取り組んでいく。町を挙げての活性化の中核的役割を果たしているのが公民館(即ち社会教育)とみだ。公民館は、町民会館の中にあり、教育次長が館長兼任、他に社会教育係長、社会教育主任、社会教育指導員の3人が町職員、さらには派遣社会教育主任と4人の専任職員が勤務している。

この他にスポーツ専任の主任補2人が社会体育面を

生涯教育推進の事業概要はつぎの三本の柱である。地域活性化学習促進会議。学習情報の提供・相談事業。地域活性化学習活動。

編纂子
の探訪の
ねらいは
生涯教育
推進にお
ける地域
づくりの
ため

安塚町の公民館を訪ねて



(1)

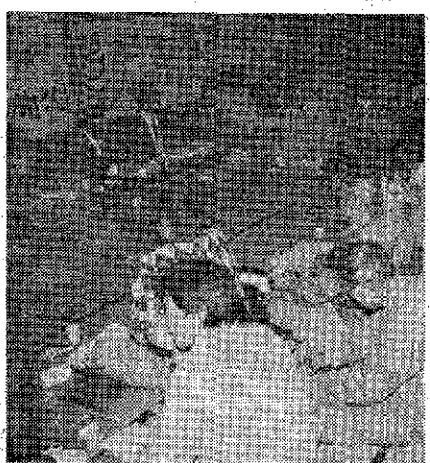
7月27日(日)梅雨の日の急な夏の日。暑さの中午後一時すぎ、安塚へ着いた。だが、中心部を素通りして、妻ヶ岳グリーンパークへ直行した。そこは今日のイベント「ちびっ子フェスティバル」が行われている。会場は、妻ヶ岳の中腹。バス



▲ちびっ子フェスティバルのスナップ

場。沼ではかじかのつかみどり大会、林間ではオリエンテーリングやアスレチック、緑陰の広場では紙飛行機やゲームと、さまざまな活動が展開され、子ども達の歓声が響きわたる。

「ふれあい」から 「地域課題の解決」へ —地域活性化学習活動の成果—



▲明るく笑顔の町づくりシンポジウム

このシンポジウムは、日本の過疎問題研究の権威安産生恒氏を助言者に迎えて、徹底的に町づくり、定住への道を話し合おうと企画された。ぶつ通しの5日間、14会場ぐるま座を組み、つばを飛ばし合った。今、そこから出された問題点や課題がコミュニティ推進協議会の手でまとめられようとしている。(1982 やすづかコミュニティパンフより)

安塚町では、住民自身による地域課題の明確化や、解決への取り組みが活発だとう。それは、小学校区を基本単位としたコミュニティづくりの活動の成果のようだ。

「コミュニティ・アクション」は、公民館では、地域の活動集団の育成のみに関わりを持ち、押しつけはしないとう。公民館(社会教育行政)は、地域ぐるみモデル指定事業(地区2年連続して指定し助成)を推進している。ここでの主要事業は、「活動集団の育成」にある。地域の「ミニマム」は、当然ながら壮年(男子)が揃っている。だから活動集団としての指定は、(成)壮年会の充実と、各公民館の連絡協議会の活性化などである。写真のように車座になつて徹底地話し合つていって論じようとう。そして触れあいを繰り返す。自分たちは何をしなければいけないかを考えようとうだとう。公民館は、さへ町

かくして、消極的で閉鎖的だった住民が自主的にムラおとしに取り組み、生活を高め、文化を高めることに意欲を持っている。

広報紙「印象的な一文が載っていたので紹介してお。

新しいムラづくりの息吹が聞える。

地域の年中行事がひとつ増えた。各小学校区ごとに行われる地域スポーツ大会である。さいの神の復活、雪上運動会、近頃ムラじゆつて集まれる機会が増えたと、新しい「コミュニティ」の輪は着実に広がつてきている。

そして、安塚町の「ミニコミュニティ」がまた一歩、次の段階に成長しようとしている。それは「ふれあい」から、地域課題の解決へ……

(コミュニティパンフから)



公民館探訪記

案があった。

たまの日曜日だから親子連れのレクリエーションで遊びたいと思えばそれまでのことだが、私には、父親の参加が苦痛以上に多いこと、生き生きと活動している姿が印象的だった。ボランティアで参加している数人の女子高生もまた、生き生きとは切れるように動きまわっている姿が目についた。

あとで分ったことだが、この生き生きした姿こそ、安塚町の「生き生き」づくり活動の成果に他ならないものと思われた。
7月28日(月)(公民館)

生き生き情報の提供

学習情報の提供・相談事業

情報提供の活動がやたらと多い。行政広報紙「まちだより」もすつかがはじめ、「おしらせ」も多く提供することが、ふるさと再発見であり、生き生きした生活の姿に近づけるものである。公民館が生活教育情報を提供するのは、電話相談コーナー、無線情報など電話や電遊によるものもある。内容は「生き生き」をねらってお

町づくり30人委員会 —地域活性化学習促進会議—

地域の活性化に取り組む主要学習者30人、学校関係者3人は、あくまで地域の住民自身であ

かかっている。この委員会は、一過激化を多過ぎてばかりで、地域活性化の学習促進の会議をすも何ひとつ解決しない、何かをしなれば」という住民の動きが、住民の学習需要を喚起させた。しかし、この学習促進に公的、事業のあり方、推進方策等に、各都局、団体の連携と協力が、民館だけで進められるものではな

こうした推進体制は、多くの市町村でも組織しているが、あまり有効に機能していないと聞く。安塚町の場合成功しているのだろうか。以下は私の極めて油断による推量である。①農山村で農産物

の産出が盛んな、安塚町の地域づくりは本物だと思えた。ここまでするものは、公民館の職員力に頼るものだろう。あえて名をあげるなら、社会教育指導の渡辺武敏氏であり、彼とともにある公民館職員や、30人委員会のすべての人たちがであろう。

探訪を終えて

その渡辺氏は、今春、町部局総務課へ異動したという。安塚町の公民館発展のためには惜しい気がする。しかし見方を変えれば、総務課の立場から、いよいよ全町で展開の町づくりが可能となり、公民館もまたより一層の振興が期待できそうな気がする。そうあってほしいものだと思いつつ、また数

自分たちの手で雑誌をつくらせてみたい」と、ふと思つたことがそもそもの発端でした。そこで、のつてくれそうなる人を声をかけ、集ったのが女子の五人。それならいつか女子の手で挑戦してみよう、女子の手で立ち上げよう、と決まっていた。と意識のみだけはありました。

紹介文 Pocket Pocket

第一号の発行は、昨年7月、すへて初心者、どうなるかという気をもみましたが、できあがってきた時には、やっぱりという感激。いま、第4号に向けて活動開始。ぜひぜひ編集員にひととおたよりください。お待ちしています。

(社会教育指導員 小林 美佐子)

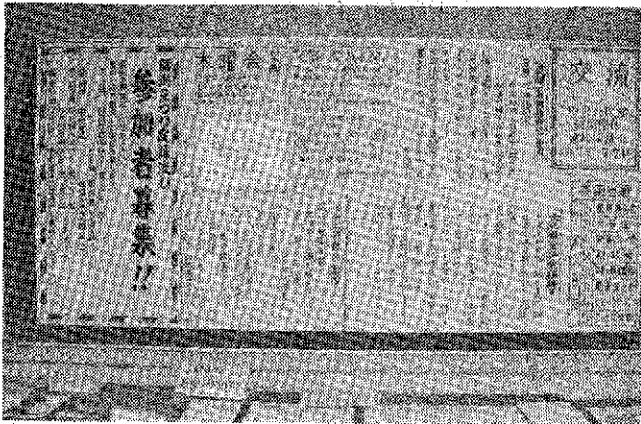
新潟市中央公民館

実践記録シリーズ

広がる仲間の輪 使用団体の連絡協議会を結成

公民館を利用する団体が急増すると、スペースを確保するために、早いものがちとか、実績優先とかさまざまな問題が生じてくる。新潟市の中央公民館でも、昭和55年ころにそんな問題を抱えていた。その問題解決のために、「使用者団体連絡協議会」を結成した。

その連絡協議会は、単に団体相互の連絡・調整をするだけでなく、相互の交流や研修を深める活動を進めた。それによって、相互理解や協力の輪が広がり、連帯感の深まりとともに、個々の団体の活動も活発になり大きな成果をあげている。



かべ新聞「交流」をととしての活動

一、壁新聞の発行

初めは大方の含意は他の団体のことには無関心で、知るところも興味もなく、連絡協議会の運営に協力することなど余計な仕事とわいにかかえられなかった。そこで、まず「お互い知りあうこと」をねらい、経費も安あがり、手軽にやれる事業として、壁新聞を発行することから始めた。

大洋紙三枚を貼り合せた紙面に「交流」と題字をつけ、各団体の活動紹介や個人紹介、意見交換のコメント、絵画、文章、情報伝達を載せ、一月ごとに書き替える。掲示場は玄関突き当りの壁面を借りてもらった。気軽に立ち寄り、見ることができると、掲載が言えるとか、他団体の様子や協議

会の動きがわかり、なかなかの好評。今日まで7月号が続いている。

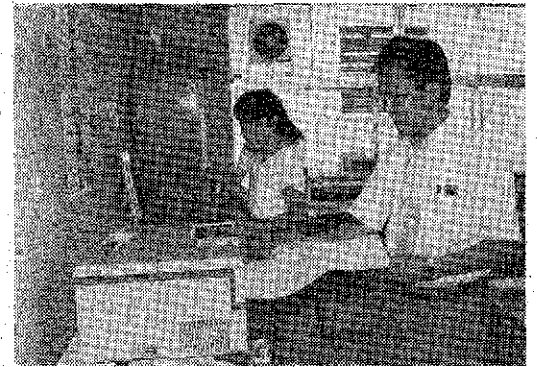
二、協議会だよりの発行

壁新聞を補充するものとして、四ページだけの「三新聞」を年一回又は二回発行して、その「ニュース」の欄を設

三、研修会の実施

研修会は、当初が六月・一月と年々回実施してきた。その経過を説明すると、まず、「公民館とは、公民館活動とは」といった、公民館や社会教育活動に対する理解から始められ、その後「公民館の上手な使い方」や「管理への協力」となり、昨年あたりから「印刷機の操作」の実技的なものに移っている。いま、視覚覚醒機

の操作を考慮中である。こうした壁紙の研修の他に、グループ研修も盛んのももやっています。それも始めは、講師から「承るのみ」の会だったが、昨年あたりから、団体の実践発表をもとに討論し、そのあとで講師の指導



印刷機操作研修 (実修スナップ)

四、その他の活動

公民館職員との懇談会(年二回)、協議会内での部会の育成・文化祭共催イベント、新潟まつりへの参加など。

五、むすび

研修会のような硬い活動と、イベントのような軟かい活動との硬軟二面のバランスを考え、事業の取り組んで来た。年だったが、ようやくその成果を見せはじめたように思える。

「交流」のテーマを「お互い助けあおう」に移して、活力にあふれた活動を展開している。

前会長 相泉 正義
会長 服部 欣一 記

プロフィール

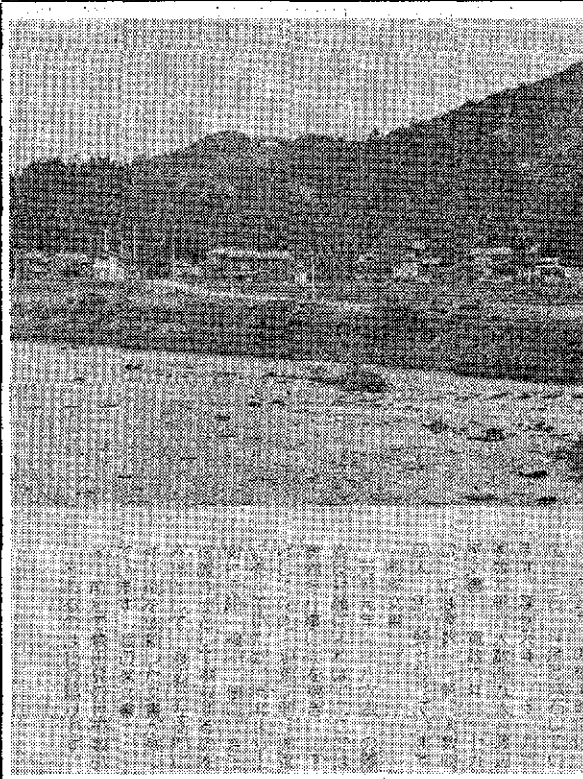
長岡市中央公民館教育活動係 佐藤文治氏 (27歳)

「文ちゃんのこと、私のホープ佐藤文治 主事である。 五六年に大東文化大 学を卒業と同時に長岡 市役所資産総課に、そ して五九年から中央公 民館に勤務となり、現 在社会教育指導員を含め教育 活動係七名中、唯一の独身男 性である。 会議等で自己紹介のため に、「ニヤニヤしながら「公民 館で一番若い佐藤です……」 と初め出し、若さを売り物に している。ユマ塩麴の我々に とって、チャットばかり憎ら しい存在である。 彼の家庭が商家のせいか、 こまかな事までよく気がつ き、素直で明るい好青年であ る。」

担当業務は青年・成人・婦 人教育が主であるが、きこめ まかな計画、魅力ある事業運 営を試み、マンネリ化をきら む。 担当業務は青年・成人・婦 人教育が主であるが、きこめ まかな計画、魅力ある事業運 営を試み、マンネリ化をきら む。 担当業務は青年・成人・婦 人教育が主であるが、きこめ まかな計画、魅力ある事業運 営を試み、マンネリ化をきら む。



今後の活躍を期待する佐藤氏を 築くことを心から期待している (長岡市中央公民館 館長補佐 木宮 敦)

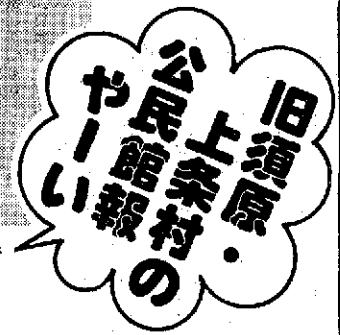


むらの地名

久保くぼ 14
■人口56 ■世帯数12

切抜帳

ムラの地名の由来を、このように、広報紙としては比較的広いスペース(実物広報紙の寸縮尺)に、地図・写真入りで解説している。おのずとふる里志向が高まるでしょう。(広報せきかわ8月15日号から)



思わすわらいがこみあげてくるようなユートラスな「お尋ね」もの。守門村公民館では、旧須原村・上桑村の公民館報を接しています。保存用縮刷版をつくるのをぞうです。

ヒヨコとした村外にもあるかもしれないと思ひ、本紙も協力するため、切り抜きました。心当りの向きは、守門村公民館へ一報してあげてください。仕事が終われば必ず返却するぞうです。(公民館報「守門」8月10日号)

図書推薦コーナー

時事年鑑 (一九八六年版)

大日本百科事典編
本書は、時代に対処するため的確な情報が得られるよう企画、編さんした時事問題の百科事典である。
一九八六年版は、一九八五年一年間の出来事を中心になっており、項目は、事項編、各国編、人物編、ジャンル百科、便覧編の五つに分かれている。(小学館、B5判、四六三頁、五〇〇円、61年3月発行)

新潟県の地名

平凡社編
地は、その土地に生死した人々の歴史、生活、精神史の貴重な索引であるといえる。
本書は、日本歴史地名大系の第十五巻にあたり、新潟県の地名を、現在の市町村単位で地域ごとに配列し、原始から現代にまで解説している。(平凡社、B5判、一、四六三頁、三二〇〇円、61年7月刊行)

世界の国立公園

講談社編
世界の国立公園の歴史は、一八七二年、アメリカ合衆国のイエローストーン国立公園誕生に由来した。
壮大で、大自然のすばらしさと地球の無限の美しさを語りかける本書は、(1)北アメリカ、(2)南アメリカ、(3)大洋州、(4)アジア、(5)ヨーロッパ、(6)アフリカの全六巻。
(講談社、B4判、一五〇頁、各巻四、八〇〇円、61年5月刊行)

旅と美術館

二〇〇選
近畿日本 ツーリスト編
日本各地の旅先で、立ち寄りてみたいなる魅力的な美術館一〇〇を厳選して紹介している。
内容は、紹介、主な収蔵品、所在地、交通、開館時間、休館日、入館料等である。
新潟県では、新潟県美術館、近畿日本美術館の二館が紹介されている。
(近畿日本ツーリスト、A4判、一六七頁、二、二〇〇円、61年6月刊行)



かわい仲間

太田白雨風選

三領 水品 律
梅を千す大紫二つ紅に染み 霜糸 星名 星光
紫陽花の夕べの色に変わりたる 在八王子 田中 ひさ
かなかなに故郷遠く夕暮る、 三領 高橋たかし
瓜茄子もいで一と日の始まりし 室島 米山 米峰
愛想よき桃売娘朝の町 中仙田 左木 人
みちのくの土産風鈴買うことに

「初心者講座」に目をひかれた。この講座は、太田白雨風氏(川西町公民館長)の手によるもので、大抵には34句掲載されたが、さらにも句に絞っていただいた。(広報かわにし 8月15日号から)

初心者講座 季節
俳句は古来日本の季節感の美から生まれたもので、その季節感が詩形を中心になるわけ。この季節感を現わす用語を季節といいますが、季節には人事・天象・花鳥・鳥獣等いろいろありますが、それによって季節が現わされるので不可欠な用語となります。例えば「愛想よき野菜売る娘朝の町」では、野菜は四季いつもある言葉で季節を現わし得ません。「愛想よき桃売娘朝の町」とすれば、自から桃の季節感や桃売りの周辺、売娘の様子などと鑑賞の領域が広がって来ます。このようにその季節のひろがりから、いかに鑑賞の深さを求め、余韻を味わうかが俳句のポイントとなるのです。

事業紹介VI

県社会教育課関係事業

トピックス

自然に親しむ

親子の集い

県少年自然の家では、秋の自然に親しみ、親子が共に汗を流す機会を設け、自然の魅力を体験し、たくましい身体を作るとを目的に自然に親しむ親子の集いを開催します。

期日 10月4日(土)5日(日)

会場 県少年自然の家

生涯教育講座

生涯教育講座

高度化・専門化している県民の学習要求に応え、次の二つの専門的な知識講座を開講します。

◎働く親のための家庭教育講座
思春期の子どもたちを考える

第一回新潟県総合俳句大会

総合俳句大会

県内に数ある俳句の流派の垣根を越えて、総合俳句大会が開催される。開催要項はつぎのとおりであり、主催者は着々の参加を呼びかけている。

募集規定 三句十句をもって一組(雑詠、未発表のもの)一人何組でも可。住所、姓名等不明記し、出句宛同封のごとく、投句締切 昭和61年10月10日

(当日消印有効)

送付先 総合俳句協会事務局
〒950-1 新潟県市内野町26

開催案内

選考 斎藤美規 春山他石 瀧 沢篤衣 増山岳樹 小林北斗 星 佐藤野火男 石川北舟

発表 昭和61年11月16日 午後一時より、弥彦神社雅楽控観所(大会席上)

講演 一越後における俳句の今昔 家田小刀子

なお、当日参加者より一句を募集、特選句を賞します。

主催 新潟県総合俳句大会実行委員会 毎日新聞社 越佐俳句協会

創作活動など

経費 一人三千円(食費含)

申込み 県少年自然の家にて電話で問い合わせ、その指示に従って下さい。定員になり次第締切ります。

(電話)〇二五四一四六六一八〇四

青年団体の指導者研修

出座できる者を募集しています。会場は新潟市、詳しくは県教育庁社会教育課(電話)〇二五二一八

経費 三千円(食費含)

対象 市町村社会教育行政関係者 少年団体の育成者 小・中・高関係者、PTA関係者など

期日・経費
前期 10月18日(土)19日(日) 経費 千五百円(食費含)

後期 12月6日(土)7日(日) 経費 千五百円(食費含)

青少年ボランティア活動

青少年のボランティア活動の振興を図るため、関係者が一堂に会して研究協議するものです。

期日 10月3日(金)

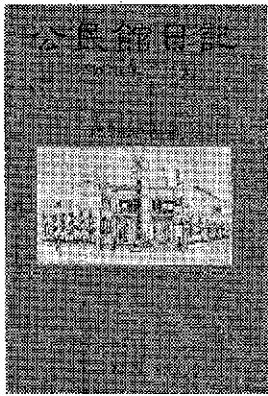
会場 県庁 会議室

対象 市町村青少年教育推進委員 中・高等学校教職員、PTA関係者、青少年団体関係者、社会福祉関係者など100人

申込み・問い合わせ先
県教育庁社会教育課青少年教育係へ(〇二五三二六六一五二一内線三八九一)

公民館日記

徳間助夫氏が出版



良書紹介

徳間助夫氏が公民館日記を出版された。氏の平生を綴じた公民館回顧録で「わが30年の軌跡」という副題がついている。徳間氏は、昭和30年以降相模市の公民館ひとすじに歩んできた方で、今年3月定年により、惜しまれつつ職を退いた人。本紙に「公民館奮闘日記」というコラム記事を5年にわたる35回に及んで連続執筆されたことは読者の記憶に新しいところ。内容は、「公民館勤務・回顧30年」にはじまり、西田道・中央・荒浜の公民館主事時代、中央公民館事務長となつてからの前・中・後期の各時期と、30ページに及んでいる。

この本は、単なる回顧の記録ではない。人を愛し、地域を愛し、公民館を愛した徳間氏の人格と生きざまが益々みなぎっていられたことに敬服する。公民館に在事する人々には是非読んでいただきたい本である。公民館とは何ぞやという人、門外としての意見を求めたい人、それぞれに役立つ良書である。定価 一冊千八百円 購入希望者は、送料別加算して、県公運事務局または柏崎市中央公民館へ申し込まれた。

振興研究協議会

経費 三千二百円(食費含)

後期 12月6日(土)7日(日) 経費 千五百円(食費含)

前期 10月18日(土)19日(日) 経費 千五百円(食費含)

対象 市町村社会教育行政関係者 青年団体のリーダー、青年団体の育成者など50人

申込み 所定の申込書により、9月22日までに市町村教育委員 会へ

あとかぎ

大会を成功させよう、いよいよ第37回の県公民館大会が近づきました。開催地柏崎市公運の関係者は大変な苦勞をおかけしております。その苦勞に添えるためにも大会テーマにかかわる実践研修を県下公民館で深めたいものです。

☆ ☆ ☆